

大分県立看護科学大学 平成 12 年度公開講座

くらしの中の健康リスクとその周辺 予防と対策

高橋 久夫 Hisao Takahashi, MA

大分県立看護科学大学 地域交流・公開講座委員長 Oita university of Nursing and Health Sciences

近年、高齢者人口や成人病の増加とともに健康に対する関心がかなり高まってきている。

病気の発生には、食事や環境の変化、ストレス、老化など多くの要因がかかわっており、病気の予防や健康維持のための情報が強く求められている。それにともなってコミュニティ・カレッジとしての大学の役割がきわめて大きくなってきていると言っても過言ではない。

本学では、2年目の公開講座を隔週土曜日の5回シリーズで、地域の一般住民を対象として実施した。5回の講座を通じて延べ458人の受講生が参加したが、その大半が高齢者であった。この講座は本学の特徴を生かし、昨年度に引き続き統一テーマを「くらしの中の健康リスクとその周辺」とし、「予防と対策」を副題として加えた。

開催日時、演題および担当講師は下記に示した通りである。

	開催日時	演題	担当講師
第1回	9月16日(土) 14:00 ~ 16:00	「医療事故は防げるか」	平野
第2回	9月30日(土) 14:00 ~ 16:00	「中高年のこころの危機」	斎藤
第3回	10月14日(土) 14:00 ~ 16:00	「あなたとわたしの更年期」	宮崎
第4回	10月28日(土) 14:00 ~ 16:00	「環境とアレルギー」	市瀬
第5回	11月11日(土) 14:00 ~ 16:00	「今どきの子育て」	森

延べ人数が11年度は200人であった受講生が、12年度は予想に反し11年度の2倍を遙かに越えた。いずれにしてもこの公開講座が、地域社会の人々の健康で意義ある日常生活と結びつくことは、大学の社会的貢献として意義があるだけでなく、大学における学術研究の発展にもつながることと確信する。本講座が、大学と地域社会との交流のさらに新たな発展を生み出すことを期待してやまない。